

第3期高幡地域アクションプランの進捗状況等について
平成28年度地域アクションプランの追加項目（案）

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 2 8 . 8 . 3 0

高幡地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 41 項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

農業分野では、まとまりのある産地づくりなどにより、みょうがやにらなど全国トップのシェアを誇る園芸品目の品質確保と生産拡大に取り組むとともに、中山間地域でのゆずや加工用わさびなど補完品目の生産拡大と複合経営などによる農家所得の向上を目指して取り組みを進めている。

また、本年4月にオープンしたJA土佐くろしおの直販所「とさっ子広場」は、地元の豊富な農産物、水産物の販売のほか、イートインコーナーでの軽食の提供なども始まり、販売額、来客数とも順調に推移している。

畜産分野では、四万十町産豚肉のブランド価値を高めるとともに、関連産業を含めた雇用と経済波及効果を目指して地域産業クラスターの創出に取り組んでおり、本年4月には、養豚農家である(農)四国デュロックファームが自ら経営する加工場及び直販所、飲食店が四万十町と高知市にオープンし、精肉・加工品の販売等を開始した。今年度内には、同じくクラスターを構成する(農)平野協同畜産が、規模拡大と生産効率の改善を図るため畜舎の整備を行う予定で作業を進めている。

林業分野では、「四万十ヒノキ」をはじめとする地域材の販売促進を図るため、四万十町森林組合で集成材製品の販売拠点となる展示・商談施設の整備に向けて協議を進めている。

水産分野では、平成27年度に須崎市と中土佐町において2か所の水産加工施設が操業を開始したが、それぞれ、県外の生協等への定期的な外商活動や県外からの産地視察の受入れ等により、販売量を徐々に拡大している。

観光分野では、4月に開幕した「2016 奥四万十博」は、オープニングイベントに約 25,000 人が訪れたほか、主要観光施設への入込客数、宿泊者数とも前年を上回る順調な滑り出しを見せており、引き続き、観光資源の掘り起こしを図るとともに、ガイドブックの作成やホームページ、ブログによるタイムリーな情報発信、旅行エージェントへのセールスなどに取り組んでいく。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町) 《事業主体》 ・JA土佐くろしお	[目標(H31)] 主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう) 販売額:92億円<H27:85.6億円>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達目標]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう) 販売額: 82 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目慣らし会: 22 回(7 月末) ・現地検討会: 6 回(7 月末) ・栽培現地実証圃の調査: 9 ヶ所 ・IPM 技術の実証圃の調査: 11 ヶ所 ・環境制御技術の推進の実証圃の調査: 13 ヶ所 ・各PT会で、活動計画の検討と関係者間での目標の共有 ・環境制御技術を活用した栽培に関心を持つ農家の増加 ・環境制御機器の導入に向けた補助事業の申請 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術の定着化 ⇒目慣らし会等の開催、定期的な巡回指導の実施
<p>■No.2 J A土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)土佐くろしお村村営みのり ・J A土佐くろしお 	<p>[目標(H31)]</p> <p>全作業受託面積: 10ha<H27:5ha> 一部作業受託面積: 54ha<H27:28ha> 販売額: 195,100 千円<H26:77,185 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>全作業受託面積: 9ha 一部作業受託面積: 30ha 販売額: 142,747 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>[米作受託]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全作業受託面積: 約10ha(7 月末) ・一部作業受託面積: 約10ha(7 月末) <p>[直販所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所(とさっ子広場) 開店(4/21) ・販売額: 61,000 千円(4/21~7 月末) ・新規雇用者数パート 16 名 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所の売上向上 ⇒出荷者・顧客の聞き取り調査、販売データ分析 ・米作受託地が点在 ⇒受託地をまとめることによる効率化 ・育苗センターの統合 ⇒県補助事業の活用に向けた支援

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(栲原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA津野山</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要農産物5品目(みょうが、土佐甘とう、ししとう、米なす、小なす)販売額:3.2億円<H26:2.7億円></p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額:20,000千円<H26:8,099千円></p> <p>所得400万円以上の農家数:8戸<H26:6戸></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>主要農産物5品目販売額:2.9億円</p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額:14,500千円</p> <p>所得400万円以上の農家数:6戸</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者部会の開催:14回(7月末) ・実証圃の設置:10ヶ所 ・複合経営を進めるため、5品目に加えゆずや加工用わさびなどを組み合わせた栽培や、栽培技術の向上による所得の向上 ・帰省者向け相談会開催(8/14):2名 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 <p>⇒営農みらい塾開催</p>
<p>■No.5 葉にんにくを活用した加工食品の生鮮・販売の拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)アースエイド</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:40,000千円<H26:5,719千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:30,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示商談会等の参加:5件(7月末) ・須崎市産振補助金を活用した成分分析の委託、販売促進業務の業者委託 ・新規取引開拓:22件(7月末) ・売上高:6,370千円(7月末)(前年同期比114%) ・新商品開発:2品目(黒にんにく、アヒージョ) ・地元パン店等とのコラボによる新商品開発:1品目(じゃこペーゼピザ=パン(ピザ)×じゃこ×葉にんにくジェノベーゼ) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 <p>⇒民間事業者を活用した県外への販売促進活動の強化</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおのみエコロジーファーマーズ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>エコ米販売量:27t<H27:12.9t></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>エコ米販売量:16t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・執行委員会の開催:1回 ・ほ場の巡回指導による栽培指導の実施:2回 ・まるごと高知、高知大丸等での販促活動:5回 ・教育現場との交流活動:2回 <p>高知県立大学(COME☆RISH) 田植え体験交流、生育状況確認</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の拡大 ・作付面積の拡大 <p>⇒生産拡大に向けた営農指導</p>
<p>■No.7 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大(梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町雉生産組合 ・梶原町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売額:22,000千円<H26:14,367千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額:17,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地視察型商談会への参加:1回(3社商談) ・新規取引先:4件(うち県外3件) ・町内飲食店で提供されるキジ肉料理「キジグルメ」を龍馬パスポートに登録:9店舗参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓 <p>⇒商談会(大阪)への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保 <p>⇒飼育マニュアルの作成による新規就農者の掘り起し</p>
<p>■No.8 つの茶販売戦略(津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA津野山 ・津野町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>茶製品販売額:34,000千円<H26:13,596千円></p> <p>荒茶販売額:54,000千円<H26:51,218千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>茶製品販売額:25,901千円</p> <p>荒茶販売額:52,489千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新茶の販促イベントの実施:4回(7月末) ・かぶせ茶の生産面積の拡大:0.65ha(0.15ha増)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・津野町が「茶業アドバイザー」設置し、イベント等でPR ・茶製品販売額：4,635千円(6月末)(前年同期比92%) ・荒茶販売額：47,769千円(7月末概算額) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶製品の販路拡大 ⇒イベント参加から販路拡大に重点をシフト ・茶産地の維持、耕作放棄地園対策 ⇒大手企業に対し、茶園管理経費の支援による景観保全に向けた企画を提案
<p>■No.9 みどり市を核とした「地消地産」の推進(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA四万十</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>産直コーナーの販売金額 ：300,000千円<H26:221,286千円></p> <p>手作りキッチンの販売金額 ：32,000千円<H26:30,047千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>産直コーナーの販売金額：250,000千円 手作りキッチンの販売金額：33,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり市産直の運営に係る検討会：4回 ・みどり市総会：1回 ・野菜栽培講習会：5回 ・野菜栽培現地巡回指導：9回 ・手づくりキッチンの運営に係る検討：10回 ・ときめきバイキング：4回 ・産直コーナーの販売金額：53,700千円(7月末) (前年同期比110.4%) ・手作りキッチンの販売金額：12,600千円(7月末) (前年同期比132.0%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の生産出荷量の増加 ⇒新規生産者への栽培技術指導 ・販売促進 ⇒新商品の開発やメニューの充実
<p>■No.10 四万十の栗再生プロジェクト(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>原材料供給量(JA出荷量)：45t<H26:17t> 加工品売上高：60,000千円<H26:33,320千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>原材料供給量(JA出荷量)：25t 加工品売上高：60,000千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会：2回 ・栗技術チーム会：3回 ・協議会の課題解決に向けた関係機関等との協議：6回（8月末） ・栗の剪定技術指導のため栽培技術者（指導剪定士）1名を委嘱（H28年度） ・新商品の開発：3種類（栗スイーツ） ・加工品売上高：17,930千円（7月末）（前年同期比96%） ・「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」採択（ペースト加工用機械の導入） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗の生産出荷量の増加 ⇒栽培技術指導の徹底及び栗剪定士の養成
<p>■No. 13 四万十町畑作振興プロジェクト （四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十野菜合同会社 ・(株)ハマヤ 	<p>[目標（H31）]</p> <p>販売額：118,911千円<H26:0円> 雇用者数：18人（累計）<H26:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>販売額：76,660千円 雇用者数：7人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会：7回 ・四万十野菜合同会社の経営安定支援：4回 ・野菜栽培指導：7回（8月末） ・四万十野菜の販売促進（検討会・情報提供・協議）：3回 ・四万十野菜のブランド化に向けた会議：1回 ・販売額：2,396千円（7月末） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した野菜の栽培 ⇒栽培技術指導の徹底
<p>■No. 14 四万十のうまい豚プロジェクト （四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十ポークブランド推進協議会 ・農事組合法人四国デュロックファーム ・農事組合法人平野協同畜産 	<p>[目標（H31）]</p> <p>（農）四国デュロックファーム売上高 ：551,545千円<H27:518,785千円></p> <p>（農）平野協同畜産母豚数 ：500頭<H27:420頭></p> <p>（農）平野協同畜産年間出荷頭数 ：11,000頭<H27:8,400頭></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達目標]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高：537,271 千円 (農)平野協同畜産母豚数：420 頭 (農)平野協同畜産年間出荷頭数：8,400 頭</p> <p>[取組状況]</p> <p>[四万十ポークブランド推進協議会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打合せ会(クラスター計画の共有・修正、総会の準備、役割分担、進捗管理等)：8 回 ・通常総会に係る準備会：2 回 ・通常総会：1 回 <p>[(農)四国デュロックファーム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場及び直販所開業(4 月) ・バーベキュー施設開業(7 月) ・加工場、直販所(四万十町)売上 : 18,218 千円(7 月末) ・飲食店(高知市)売上：4,703 千円(7 月末) <p>[(農)平野協同畜産]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産業振興推進総合支援事業に係る打合せ：12 回 ・農場 HACCP に係る打合せ、チーム会：6 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場及び直販所の販売額の増加 ⇒イベントへの出店や営業活動等による販路の拡大及び顧客の確保
<p>■No. 15 「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町森林組合 ・須崎地区森林組合 ・四万十町 ・中土佐町 ・地元事業者 	<p>[目標(H31)]</p> <p>地域森林資源の原木生産量(ヒノキ、スギ) : 15,400 m³<H26:13,999 m³></p> <p>集成材工場の売上高：3 億円<H26:4 億円></p> <p>F S C 等認証森林面積：8,013ha<H26:6,678ha></p> <p>販売連携事業者数：3 社<H26:0 社></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>地域森林資源の原木生産量：14,000 m³</p> <p>集成材工場の売上高：2.9 億円</p> <p>F S C 等認証森林面積：7,000ha</p> <p>販売連携事業者数：1 社</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正集成材工場展示場整備に関する打合せ：6 回 ・四万十町森林組合大正集成材工場の外商回数：77 回 (7 月末) ・四万十ヒノキブランド化協議会 幹事会：1 回、総会：1 回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・製品売上高：56,301千円(7月末) ・FSC認証面積：5,424ha(7月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十ヒノキの認知度の向上 ⇒ロゴマーク活用による認知度の向上 ・集成材製品の販路の拡大 ⇒集成材製品展示場の整備による外商活動の強化
<p>■No.22 野見湾産養殖カンパチの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷漁協 ・大谷漁協ネイリ部会 ・㈱みなみ丸 	<p>[目標(H31)]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 ：86,960千円<H26:4,320千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高：57,612千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイリ部会での勉強会：2回 ・HACCP取得に向けた保健所との協議：1回 ・奈良コープでの試食会の開催：3回(延べ6日間) ・須崎市ふるさと納税返礼品として「極美勘八」を全国発送 ・売上高：11,974千円(7月末)(前年同期比298%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 ⇒県補助を活用した商談会への参加
<p>■No.23 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 ・乙女会 ・㈱大東冷蔵 ・㈲小島水産 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鯛工房：100千尾<H26:60千尾> ・乙女会：300千尾<H26:53千尾> <p>[H28到達目標]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鯛工房：約80千尾 ・乙女会：約300千尾 <p>[取組状況]</p> <p>[土佐鯛工房]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外のバイヤーによる産地見学会：2回 <p>[乙女会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィレ等に加工した商品の販売拡大 ・HACCP取得に向けた検討 ・販売量 土佐鯛工房(海援鯛)：21,088尾(7月末) (前年同期比95%) 乙女会(乙女鯛)：18,169尾(7月末)(前年同期比65%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒市補助活用に向けた支援 ⇒施設仕様に係る保健所等の指導・助言
<p>■No. 25 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 中土佐町 中土佐町地域振興公社 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品売上高: 35,987千円<H26:6,635千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>商品売上高: 22,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 鰹のたたき等の商品PR: 1回 商談会等: 1回(県内) 産地見学会等: 3回 OEM商品の製造販売開始 商品販売高: 7,800千円(7月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぴんぴ鰹のタタキ」「上々鰹のタタキ」など自社ブランド製品の販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県外の新規販売先の確保などの外商活動
<p>■No. 27 久礼の浜屋敷整備事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 中土佐町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁内シープロジェクト検討会実施: 13回 庁内施設(直販所)設計協議: 5回 出店予定者との協議: 4回 外部関連団体との協議: 3回 行政支援による設計・調整協議: 11回 議会説明、協議: 2回 町外施設の視察: 2回 運営会社設立登記(4/27) 道の駅の実施設設計が完了(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 町全体の賑わいの創出に繋がる施設や仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒お宮さん通りの観光拠点施設や大正町市場等との連携 道の駅の着実な経営 <ul style="list-style-type: none"> ⇒産振アドバイザー等の活用 テナントへの事業サポート <ul style="list-style-type: none"> ⇒人材育成や商品開発に関する支援制度の提案等

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》 ・企画・ど久礼もん企業組合</p>	<p>[目標(H31)] 開発する商品数:年1商品(4商品) 商品売上高:50,000千円<H26:32,180千円></p> <p>[H28到達目標] 開発する商品数:1商品 商品売上高:35,000千円</p> <p>[取組状況] ・新商品試作(2商品) ・新商品開発(1商品)(マグロワタラー油) ・商品売上(店舗):3,027千円(7月末)(前年同期比106.5%) ・商品売上(全体):9,425千円(7月末)(前年同期比98.4%) ・商談会及び営業活動:2回 ・イベント等でのPR販売:3回 ・テレビ、取材等:1回 ・食品表示セミナー参加:1回 ・大正町市場の活性化販わいづくりへの取り組み:4回 ・中土佐町ふるさと納税業務受託</p> <p>[課題と今後の対応] ・新商品の開発 ・販路の拡大 ⇒アドバイザーの活用、セット商品の開発</p>
<p>■No. 30 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》 ・(有)津野町ふるさとセンター ・(株)満天の星 ・津野町</p>	<p>[目標(H31)] 直販所総販売額:1.62億円<H26:1.53億円> 直販所販売額(高知店3店舗):1億円<H26:0.91億円> 満天の星売上:2.27億円<H26:1.89億円></p> <p>[H28到達目標] 直販所販売額(高知店3店舗)0.8億円 直販所総販売額:1.58億円 満天の星売上:2.34億円</p> <p>[取組状況] ・直販所販売額(高知店3店舗):25,249千円(7月末) (前年同期比87%) ・直販所総売上:48,966千円(7月末)(前年同期比95%) ・満天の星売上:86,405千円(7月末)(前年同期比116%) ・関係者経営会議等:7回 ・奥四万十博関連で道の駅食堂新メニューの開発</p> <p>[課題と今後の対応] ・消費者ニーズに応えた生産、供給体制 ⇒各店舗ごとの販売状況の分析</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 高幡地域における広域観光の推進 (高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》 ・高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要観光施設入込客数 : 2,459,000人<H26:1,954,206人></p> <p>宿泊者数: 51,300人<H26:40,925人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>主要観光施設入込客数: 2,433,216人 宿泊者数: 49,033人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥四万十博オープニングイベント来場者数: 25,000人 ・奥四万十博推進協議会本部会等開催: 7回 ・旅行会社、航空会社での企画商品化: 3社 ・テレビCM(15秒)の実施(愛媛127回、高知111回) ・道の駅でのPR: 松山 ・大型商業施設等でのPR: 6回(大阪、徳島、香川、愛媛、高知2回) ・スポーツ紙等での特集記事掲載(大阪、名古屋) ・旅行会社へのセールス実施 (東京、福岡、愛媛、岡山) ・コンベンション協会主催のキャラバン参加(首都圏、関西) ・高知県観光説明会への参加: 4回(東京、大阪、名古屋、岡山) ・道の駅飲食コーナー(6店舗)や飲食店での奥四万十博限定メニュー開発 ・商品への奥四万十博ロゴマーク使用登録件数: 17件 (満天の星豆菓子、土佐足袋、サークルK四万十うなぎ他) ・奥四万十博物産コーナーの設置(高知空港、共済会館、ひろめ市場) ・奥四万十博記念切手販売(須崎郵便局) ・主要観光施設入込客数: 735,890人(7月末) (前年同期比109%) ・宿泊者数: 15,571人(7月末)(前年同期比113%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続的な広域観光の推進 ・体験プログラムの造成、磨き上げ ⇒奥四万十観光動向調査の実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 33 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>交流人口：23,000人<H26:16,000人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>交流人口：17,500人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのアンケート調査の実施(大学、社会人等) ・新たな体験メニュー導入(サップボード、シーカヤック) ・須崎市関係各課検討、地域団体との意見交換 ・交流人口：5,464人(7月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備計画の策定 ・受入体制の充実・強化 <p>⇒関係団体、地域住民等との協議</p>
<p>■No. 38 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・(株)海洋堂 ・(株)奇想天外 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人<H26：44,033人></p> <p>常勤雇用者数：5人<H26：5人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人</p> <p>常勤雇用者数：5人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 18,531人(7月末)(前年同期比111%) (延べ入館者数：324,125人(H23.7~H28.7月末)) ・企画展開催：2回 (エヴァンゲリオンフィギュアワールド(3/5~5/30)) (海洋堂造形怪獣総進撃(7/16~10/24)) ・イベントの開催：3回 (ガラポンくじ、ダンスステージ、ビンゴ大会等) ・イベント広報用チラシ作成：2回 ・渋滞対策の実施：7回 (シャトルバスの運行及び警備員の配置) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり <p>⇒観光協会や地元団体等との連携強化</p>

2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 14 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町) ※7/1 採択</p>	<p>・分娩豚舎及び繁殖舎の新設、既存施設の離乳舎及び肥育舎への補改修による生産規模拡大 ・精肉や OEM 商品の販売拡大</p>	108,505 (16,746)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化（梶原町）

（概要）畜舎等を整備拡充し、生産飼育体制の安定・強化を図ることにより、（一社）津野山畜産公社による夏のカルスト放牧の継続、一貫生産飼育体制（繁殖牛、子牛、肥育牛の飼育）の確立を目指す。また、飼育頭数の増加による雇用の創出や地域産業の活性化を図る。

4 県民参画に向けた取組

- ・四国銀行等との意見交換会での第 3 期計画の説明(4/20、8/2)
- ・高知銀行との意見交換会での第 3 期計画の説明(6/15)
- ・商品開発及び経営改善を目指す事業者等への土佐 MBA の PR
(道の駅「かわうその里」ほか 8 件)
- ・事業者への HACCP 研修会の受講案内（須崎商工会議所ほか 16 件）

5 相談案件：6 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	食品加工	みょうがを使った加工品の原料確保について
2	4/20	製造業	土壌改良剤の製造設備の整備への支援について
3	5/12	食品加工	地域産業クラスターの概念等について
4	5/17	食品加工	田舎寿司の製造に向けた乾燥しいたけの供給先について
5	5/23	農業生産	就農のための農業機械の購入への支援について
6	7/21	水産養殖	水産養殖施設への支援制度について

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	橋原町	素材名 関連素材	肉用牛
現状・課題	<p><現状> 橋原町では、昭和47年度の国営草地開発事業において四国カルスト地域が公共育成牧場として整備され、夏期には四国カルストにて放牧、冬期にはそれぞれの農家で飼育を行うという、「夏山冬里方式」で橋原の農業振興を図ってきた。 現在、町内では津野山農業協同組合、一般社団法人津野山畜産公社及び各農家が牛を飼育しており、品種は土佐褐毛牛（土佐あか牛）が10%、黒牛が90%である。高幡地域の畜産の主産地は、四万十町と津野山地域で、津野町北川には県下に2つしかない畜産市場のひとつ、高原家畜市場があり、全盛期（平成3年）には橋原町において900頭以上の牛が飼育されていたが、平成19年には232頭にまで減少した。しかし、近年は若い農家の多頭飼育化が進み、平成27年には343頭に増えている。 （一社）津野山畜産公社は、これら農家の牛のカルスト放牧や一時預かり等も実施しており、特に夏期に牛を預けることによって農作業の負担軽減となり、畜産だけでなく地域の園芸農業における重要な支援組織となっている。 また、津野山農業協同組合は、増殖育成センターにおいて牛の繁殖・肥育の一貫生産、キャトルステーションにより子牛の保育を行っている。</p> <p><課題> （一社）津野山畜産公社では、職員2名体制で運営しているが、30年度末には、ベテラン職員の定年退職により夏山冬里方式の仕組みを運営する人材が不在となる見込みである。 また、津野山農業協同組合は、農業協同組合法の規定や県内農業協同組合の合併方針により、増殖育成センターで行ってきた牛の繁殖・肥育の一貫経営から撤退する方針であり、事業を継続しない場合、地域内で生産される子牛の育成肥育及び子牛価格下落時の買支え支援などを行う機関が不在となり、畜産農家の負担増となって津野山地域の畜産は衰退する。 そのため畜産農家の支援、負担軽減のために事業を継承する畜産公社の組織強化、経営強化が必要である。</p>		
今後の方向性	<p>（一社）津野山畜産公社は、地域の畜産の拠点を維持し、地域の産業を守るため、津野山農業協同組合の事業を継承するとともに、経営基盤の強化に向けて畜舎等の増築による飼育頭数の増頭及び体制強化を図るため、（一社）津野山畜産公社の職員の増員を行う。</p>		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）


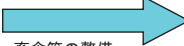


『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化																											
関係市町村名	橋原町																												
事業の概要	<p>畜舎等を整備拡充し、生産飼育体制の安定・強化を図ることにより、（一社）津野山畜産公社による夏のカルスト放牧の継続、一貫生産飼育体制（繁殖牛、子牛、肥育牛の飼育）の確立を目指す。また、飼育頭数の増加による雇用の創出や地域産業の活性化を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 組織体制の強化 （一社）津野山畜産公社の職員の増員や、研修生の受入等を実施する。 畜舎等の整備 飼育数の増頭に向け、畜舎及び子牛飼育用共同施設（キャトルステーション）の整備拡充を行う。 飼育数の増加 現在、約220頭の牛を飼育・肥育しているが、経営基盤を強化するために畜舎完成後、約500頭の飼育を目指し増頭する。 橋原町産牛肉の認知度向上 ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会等による認知度向上による地産地消や外商の拡大を目指す。 																												
事業主体等	<p>【事業主体】 （一社）津野山畜産公社、橋原町</p> <p>【関係機関】 町内畜産農家</p>																												
主な内容・スケジュール	取組手順	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施【H28】</th> <th>1年後【H29】</th> <th>2年後【H30】</th> <th>3年後【H31】</th> <th>4年後【H32以降】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織の再編</td> <td>新規雇用 研修生受入等</td> <td>研修生受入等</td> <td>研修生受入等</td> <td>研修生受入等</td> </tr> <tr> <td>畜舎等の整備</td> <td>畜舎建築 キャトルステーション 建築</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>飼育頭数の増加</td> <td></td> <td colspan="4">繁殖用素牛の購入、出産子牛・肥育牛の飼育・出荷</td> </tr> <tr> <td>橋原町産牛肉の認知度向上</td> <td colspan="5">ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会</td> </tr> </tbody> </table>	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32以降】	組織の再編	新規雇用 研修生受入等	研修生受入等	研修生受入等	研修生受入等	畜舎等の整備	畜舎建築 キャトルステーション 建築				飼育頭数の増加		繁殖用素牛の購入、出産子牛・肥育牛の飼育・出荷				橋原町産牛肉の認知度向上	ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会				
	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32以降】																								
	組織の再編	新規雇用 研修生受入等	研修生受入等	研修生受入等	研修生受入等																								
	畜舎等の整備	畜舎建築 キャトルステーション 建築																											
	飼育頭数の増加		繁殖用素牛の購入、出産子牛・肥育牛の飼育・出荷																										
橋原町産牛肉の認知度向上	ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会																												
指標・目標	項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施【H28】</th> <th>1年後【H29】</th> <th>2年後【H30】</th> <th>3年後【H31】</th> <th>4年後【H32以降】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出荷頭数（頭）</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>販売額（千円）</td> <td>93,700</td> <td>93,700</td> <td>93,700</td> <td>104,000</td> </tr> <tr> <td>【設定根拠】</td> <td colspan="5">【推計の考え方】 畜舎増築の試算による H30年度：約120頭増頭 H31年度：約100頭増頭 H32年度：約60頭増頭</td> </tr> </tbody> </table>	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32以降】	出荷頭数（頭）	105	105	105	129	販売額（千円）	93,700	93,700	93,700	104,000	【設定根拠】	【推計の考え方】 畜舎増築の試算による H30年度：約120頭増頭 H31年度：約100頭増頭 H32年度：約60頭増頭										
事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32以降】																									
出荷頭数（頭）	105	105	105	129																									
販売額（千円）	93,700	93,700	93,700	104,000																									
【設定根拠】	【推計の考え方】 畜舎増築の試算による H30年度：約120頭増頭 H31年度：約100頭増頭 H32年度：約60頭増頭																												
総事業費等	総事業費	126,000千円（うち28年度 千円）																											
備考	<p>（内訳 国： 県： 千円 市町村： 千円 その他： ）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他） 国：畜産競争力強化整備事業等 県：産業振興推進総合支援補助金 人的支援： その他：</p>																												

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>42 肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化 《栲原町》</p>	<p>畜舎等を整備拡充し、生産飼育体制の安定・強化を図ることにより、(一社)津野山畜産公社による夏のカルスト放牧の継続、一貫生産飼育体制(繁殖牛、子牛、肥育牛の飼育)の確立を目指す。また、飼育頭数の増加による雇用の創出や地域産業の活性化を図る。</p>	<p>・一般社団法人津野山畜産公社 ・栲原町</p>	<p>アクションプランの取組開始：H28</p>		<p>◆組織体制の強化</p> <p>◆畜舎等の整備</p> <p>◆飼育頭数の増加</p> <p>◆栲原町産牛肉の認知度向上</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					出荷頭数 (H27:105頭)	129頭	
組織体制の強化 組織の再編	新規雇用	研修生受入等			販売額 (H27:100,969千円)	104,000千円	
	 畜舎等の整備 畜舎建築、 キャトルステーション建築	 飼育頭数の増加 繁殖用素牛の購入、出産子牛・肥育牛の飼育・出荷					
							
構原町産牛肉の認知度向上	ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会						